

令和6年度 第4回 府中市市民協働推進会議協働事業選定・評価部会 開催結果

- 日 時 令和6年12月19日（木） 午後1時30分から午後4時30分まで
- 会 場 府中駅北第2庁舎3階 打合せ室
- 出席者 （委員）鈴木琢真部会長、伊沢美由紀部会員、山根浩子部会員
（オブザーバー）価値共創アドバイザー小堀 悠、山下市民協働推進部長、
小塚協働共創推進課長
（事務局）加瀬協働共創推進課主査、小堀事務職員、小池事務職員、徳吉事務職員
- 欠席者 なし
- 傍聴者 なし（事業審査のため非公開）
- 議 事 令和6年価値共創促進事業の選定審査について

■会議内容

- 1 令和6年度価値共創促進事業提案事業について、提案団体、市担当課による公開プレゼンテーションと質疑応答を行った。その後、提案のあった2事業について「価値共創促進事業採択者審査基準」に基づき、各事業について意見交換と審査を行った。
- 2 「デフリンピック認知度向上及び聴覚障害理解促進に係る動画制作事業」については、各部会員の平均点が6割を超え、かつ可否審査において「可」が過半数を超えたため、採択となった。
出席者の主な発言は、以下のとおりであった。
 - ・国際的な総合スポーツ大会であるデフリンピックを盛り上げるため、多言語（英語・中国語など）に対応した動画にしたほうがよい。
 - ・聴覚障害者とのコミュニケーションは、手話だけでなく、より気軽なサポートツール（アプリなど）でも可能になってきている。
 - ・動画の質については、一般的な宣伝ではなく、視覚的な要素や音源を駆使し、インパクトがあり、視聴者が動画に引き込まれ、心が躍るようなものにしてほしい。
 - ・デフリンピックそのものを盛り上げることが重要であるため、動画作成後の広報周知は市内外の京王線各駅舎のツールを活用するなど、市外を含めたPRを行ってほしい。
 - ・動画制作後は、動画制作時と同様に、主管課は様々な主体と協働（連携・協力）し市内外にも広く広報したほうがよい。
- 3 「子どもたちからの『ミライをつくるアイデア』を具現化！暗くて怖い道を明るくて楽しい空間へ」は、各部会員の平均点が6割を超え、かつ可否審査において「可」が過

半数を超えたため、採択となった。

出席者の主な発言は、以下のとおりであった。

- ・本提案は、「子どもからミライをつくるアイデア」を募集した取り組みの一環として、子どもたちの素敵なアイデアを具現化したものであるため、この背景が伝わるよう PR を行うことが望ましい。
- ・小さい頃から街づくりに興味関心、又は参画することで、今回のような提案の具現化につながることを PR することで、将来の地域づくりの担い手が増えるきっかけになると考える。

選定結果

当会議が行った、令和6年度価値共創促進事業選定結果については、次のとおりです。

No.	事業名	団体名	市担当課	実施内容	申請方法	総事業費 (委託料)	選定結果	採択に当たっての意見・要望等
1	デフリンピック認知度向上及び聴覚障害理解促進に係る動画制作事業	株式会社京王エージェンシー	文化スポーツ部 スポーツタウン推進課 福祉保健部 障害者福祉課	市在住の聴覚障害者の生活や、市にゆかりのあるデフアスリートの活動、健聴者との交流の様子などを題材として啓発動画を制作・配信する。動画視聴をきっかけとして、聴覚障害に関する理解促進と、デフリンピックの認知度向上を目指す。	テーマ型	2,000,000 円 (2,000,000 円)	採択	・国際的な総合スポーツ大会であるデフリンピックを盛り上げるため、多言語（英語・中国語など）に対応した動画とすること。 ・動画制作後の周知啓発に当たっては、市内外の京王線各駅舎のツールを活用するなど、市外からの来訪者を含めたPRをしてほしい。 ・動画制作後は、動画制作時と同様に様々な主体と協働（連携・協力）して、市内外にも広くPRすること。 ・動画制作に当たっては、単なる宣伝ではなく、視聴者の感情に訴求し、デフリンピック競技の観戦や聴覚障害理解への強い動機づけを行うよう留意すること。
2	子どもたちからの『ミライをつくるアイデア』を具現化！ 暗くて怖い道を明るくて楽しい空間へ	テルウェル東日本株式会社	政策経営部 政策課	ナイトコンシェルジュ（最新の蓄光テクノロジーとデザインが融合したライティングメディア）の設置により、環境にも配慮して暗い夜道を明るくするとともに、楽しく歩ける空間にする。	テーマ型	1,496,000 円 (1,496,000 円)	採択	本事業を実現した際には、事業実施に限定したPRではなく、きっかけとなった「子どもたちからのミライをつくるアイデア」の募集から提案、事業実現までの一連の背景を含め、協働による取組の過程と成果を広くPRすること。

令和6年度価値共創促進事業審査 点数表

評価項目			地域課題の 明確性	共創の必要性	公益性・ 社会的インパクト	斬新性	実現可能性	妥当性	合計点	割合	可否審査	
No	団体名	事業名	点数	点数	点数	点数	点数	点数			可/否	割合
1	株式会社 京王エージェンシー	デフリンピック認知 度向上及び聴覚障害 理解促進に係る動画 制作事業	2 5	2 5	2 2	2 1	2 5	2 0	138	77%	可	100%
2	テルウェル東日本 株式会社	子どもたちからの 『ミライをつくるア イデア』を具現化！ 暗くて怖い道を明る くて楽しい空間へ	2 2	2 4	2 0	2 2	2 8	1 9	135	75%	可	100%

